

メカニックデザイナー

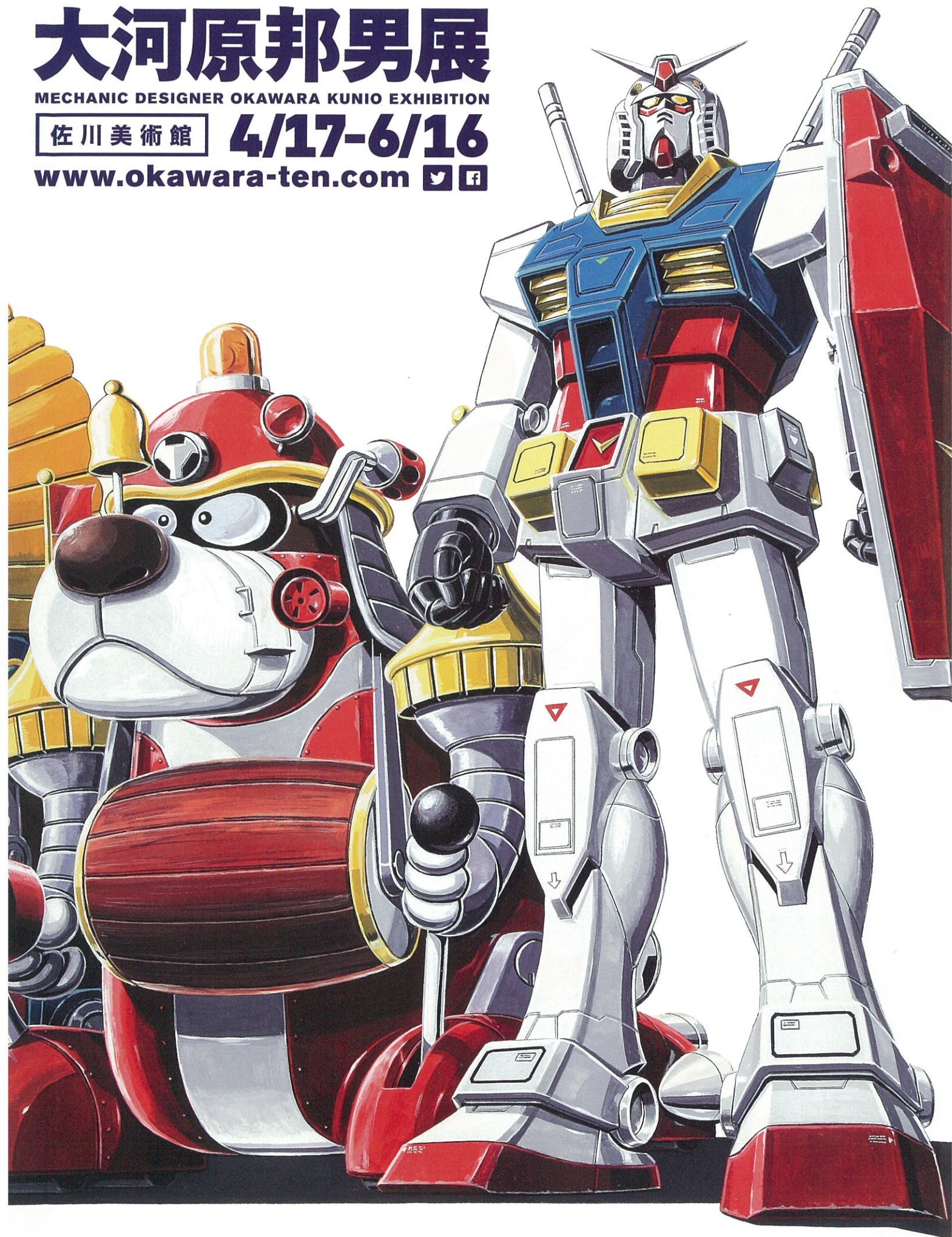
大河原邦男展

MECHANIC DESIGNER OKAWARA KUNIO EXHIBITION

佐川美術館

4/17-6/16

www.okawara-ten.com



メカニックデザイナー

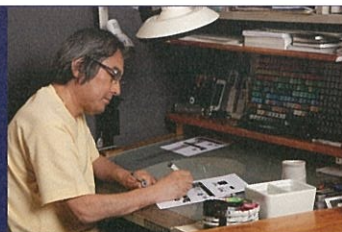
大河原邦男展

MECHANIC DESIGNER OKAWARA KUNIO EXHIBITION

佐川美術館

4/17-6/16

「タイムボカンシリーズ ヤッターマン」「機動戦士ガンダム」「装甲騎兵ボトムズ」…。誰もが
あこがれ夢中になったアニメに登場する数々のロボットデザインを手がけたのが、日本初のメ
カニックデザイナー、大河原邦男（おおかわら くにお）です。1972年に「科学忍者隊ガッチャ
マン」でデビューを果たした後、「タイムボカンシリーズ ヤッターマン」「機動戦士ガンダム」
「装甲騎兵ボトムズ」などの作品に次々と参加し、ロボットアニメにおける「メカニックデザ
イナー」という職業を世に確立しました。現在も第一線で活躍しながら、工業メーカーや地方
自治体との仕事を手がけるなど、活躍の幅を広げています。
本展では、大河原によるカラーイラストやアニメの設定資料などを一堂に展示し、大河原の
40余年に渡る全仕事を振り返ります。本邦初公開の貴重な資料や描き下ろし新作も加え、大
河原のデザインの神髄に迫ります。



第1章

メカニックデザイナーとしての黎明

1972年放送の「科学忍者隊ガッチャマン」でメカニ
ックデザイナーとしての第一歩を踏み出した大河原邦男。
彼は如何にしてメカニックデザインと出会い、その才能
を開花させたのでしょうか。第1章では当時の資料から若
き日の大河原の活動をご覧下さい。



「科学忍者隊ガッチャマン」(1972年)
© タツノコプロ



「ゴウッパ 5 ゴーダム」(1976年)
© タツノコプロ



「合身戦隊メカンダーロボ」(1976年)
© ワコプロ

【展示作品】「科学忍者隊ガッチャマン」(1972年) / 「ゴウッパ 5 ゴーダム」(1976年) / 「タイムボカンシリーズ
ヤッターマン」(1977年) / 「合身戦隊メカンダーロボ」(1977年) / 「超電磁マシン ボルテスV」(1977年)

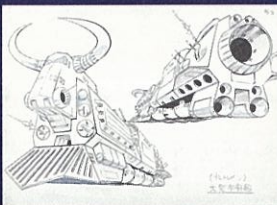
第2章

リアルロボット大フィーバー

ロボットアニメの黄金期であった80年代。ガンダム、ダ
グラム、ボトムズなど、現実感・重厚感ある大河原邦男
のデザインは多くの少年達を虜にしました。第2章では
70年代後半から80年代の最も多くのメカを描いた時代
を振り返ります。



「機動戦士ガンダム」めくりあい
宇宙」(1981年)
© 創通・サンライズ



「ドラえもん のびのび宇宙開拓史」(1980年)
© 藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK



「太閤の牙ダグラム」(1981年)
© サンライズ



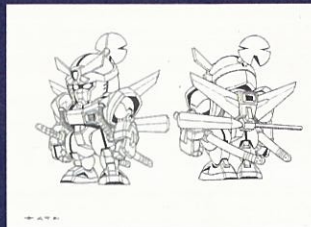
「戦え! 超ロボット生命体トランスフォーマーV」(1988年)
© タカラトミー

【展示作品】「機動戦士ガンダム」(1979年) / 「太閤の牙ダグラム」(1981年) / 「装甲騎兵ボトムズ」(1983年) /
「蒼き流星 SPTレズナー」(1985年) / 「グリコおもちや」(1987年) / 「戦え! 超ロボット生命体 トランスフォーマーV」(1988年)

第3章

ヒーロー、コミック、そしてリアル

90年代に入ると、幼稚園児からハイエイジまで幅広い
ファンに向けたアニメーションが登場します。それに伴
い大河原邦男のデザインもバラエティ豊かなものとなっ
ていきました。第3章では多彩なメカを生み出した90年
代以降の活躍を紹介します。



「からくり剣豪伝ムサシロード」(1990年)
© MIND・ひえろ



「太閤の勇者ファイバード」(1991年)
© サンライズ



「デフォルメガンダム」(1998年増補)
© 創通・サンライズ

【展示作品】「勇者エクスカイザー」(1990年) / 「からくり剣豪伝ムサシロード」(1990年) / 「太閤の勇者ファイバード」
(1991年) / 「機動戦士Vガンダム」(1993年) / 「新機動戦記ガンダムW」(1995年) / 「勇者王ガオガイガー」(1997年)

第4章

21世紀、永遠のスタンダードへ

デザイナー歴44年を迎える2016年。現在も、大河原
邦男は第一線で活躍しています。最終章ではアニメに加
え、地方自治体のマスコットや自動車のデザインなど、
異業種にもそのフィールドを広げている大河原デザイン
の“今”をお見せします。



「稲城なしのすけ」(2011年)
© K. Okawara・Jet Inoue



「吉谷機械製作所 次世代消防車 コンセプトイラスト」(2013年)



「ガンダムビルドファイターズ」
(2014年)
© 創通・サンライズ・テレビ東京

【展示作品】「機動戦士ガンダムSEED」(2002年) / 「ヤッターマン」(2008年) / 「稲城なしのすけ」(2011年) / 「ガンダムビルド
ファイターズ」(2013年) / 「吉谷機械製作所 次世代消防車 コンセプトイラスト」(2013年) / 「ガンダムビルドファイターズ」(2014年)

大河原邦男展限定ガンプラ販売決定!!

展覧会限定ガンプラ「MG 1/100 ストライクフリーダムガンダム メカニ
ックデザイナー 大河原邦男Ver.」(税込6,480円)が登場。大河原邦男氏のイ
ニシャルの様に輝く噴射を模したPET素材によるエフェクトパーツ「OKエフェ
クト」がこのキット専用で制作され付属。氏がこのキットのために手がけたデザ
イン案を元に、本Ver. オリジナルマーキングシールや成型色を再設定。ボックス
アート(外箱)は描き下ろしイラストを使用。



© 創通・サンライズ

音声ガイド

大河原メカと関わりが深いお二人が本展をご案内します。

保志 総一郎さん

「機動戦士ガンダムSEED」/キラ・ヤマト役

「銀河漂流バイファム13」/ロディ・シャッフル役

小松 未可子さん

「ガンダムビルドファイターズ」/イオリ・セイ役

貸出価格: 600円(税込)



展覧会記念イベント

大河原邦男先生がやってくる!

会場: 佐川美術館

参加費無料 先着順

詳細はホームページにてご確認ください

4/17 SUN

トークショー

時間 ①10:30 ②13:30

サイン会

(各回50名限定)

時間 ①11:00 ②14:00

5/28 SAT

トークショー

時間 14:00~

5/29 SUN

サイン会

(100名限定)

時間 10:30~

※サイン会への参加は、当館ミュージアム
ショップで販売する展覧会公式図録
を購入された方に限ります。当日の
9:30よりサイン券付図録購入引換券
を配布します。

インフォメーション

会期 2016年 4月17日(日) ~ 6月16日(木)

休館日 月曜日

会場 佐川美術館 (〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891)

開館時間 午前9時30分 ~ 午後5時 (入館は午後4時30分まで)

入館料	一般	高大生	中学生以下	前売券	各200円引 セブン・イレブン (セブンチケット)
	1,000円	600円	無料 (※ただし保護者の 同伴が必要)		

団体(20名様以上)は200円引き。専門・専修学校は大学に準じる。
障害者手帳をお持ちの方(要提示) 付添者(1名のみ)は無料。

佐川美術館 077-585-7800
大河原邦男展公式HP: www.okawara-ten.com / 佐川美術館HP: www.sagawa-artmuseum.or.jp/
twitter: @okawara_ten
facebook: www.facebook.com/okawaraten

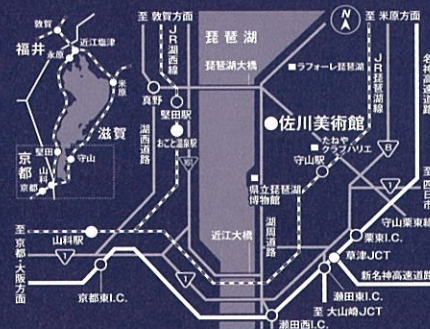
主 催: 佐川美術館、産経新聞社
特別協力: アニメディア・ドットコム、稲城市、エクスマキナ、江崎グリコ、ゴンソ、サンライズ、シンエイ動画、スタジオぴえろ、創通、タカラトミー、ワコプロ、
円谷プロダクション、東映、名古屋鉄道、日本アニメーション、バンダイ、バンダイナムコエンターテインメント、吉谷機械製作所、ワコプロ
後 援: 滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会
企画協力: アドシステム
協 力: SGホールディングス、佐川急便、佐川印刷

【お車ご利用の場合】

- 駐車場有70台、美術館入館者は駐車料無料
- 名神東ICより 約30分
- 名神京都ICから、湖西道路真野出口より
琵琶湖大橋経由 約30分
- 名神瀬田ICより 約30分

【鉄道・バスご利用の場合】

- JR守山駅より 徒歩約30分「佐川美術館」下車
- JR瀬田駅より 徒歩約15分「佐川美術館」下車



佐川美術館
SAGAWA ART MUSEUM